

すこやか加温



いつまでも健やかに。。。。
——私たちの願いです。

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

低：すべてに謙虚な気持ちで接する

賞：お互いを思いやり敬意を払う

感：すべてに感謝する

微：微笑みを添えて態度で示す

< 目次 >

- 巻頭言 副院長 折田 悟
- 当院の小児リハビリについて……総合リハビリテーション
- 地域医療連携センターのご案内…地域医療連携センター
- 口腔ケアについて……………歯科
- 心電図検査について……………検査室
- 外来からのお知らせ
- トライアスリート佐藤 錬のエッセイVol.2…人と人の繋がり大切さ

加治木温泉病院

《理 念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療・介護サービスを提供します

《基本方針》

1. 患者さんの尊厳と権利を尊重します
2. 患者さんの視点に立ち、安心・安全な治療に努めます
3. 地域包括ケアシステムを基に、全世代に生活支援サービスを提供します
4. 『健康経営宣言』に則り、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 地域住民や職員の健診事業や健康増進事業に取り組みます

巻頭言



副院長 折田 悟

みなさん、こんにちは。

加治木温泉病院の脳神経内科の折田です。

早いもので令和5年も半ばが過ぎようとしています。新型コロナウイルスの行動制限も徐々に緩和され少しずつ以前の生活に戻りつつあります。さまざまなイベントや学校・公共の場などでのマスク着用や体温測定も義務ではなくなりました。これからも十分な感染予防に気をつけながらアフターコロナを楽しんで行きましょう。さて、私は脳神経内科を専門としています。脳神経内科の扱う疾患には主に ①頭痛(片頭痛、緊張型頭痛など) ②脳卒中(脳梗塞、脳出血など) ③認知症(アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症) ④てんかん ⑤変性疾患(パーキンソン病、多系統萎縮症など) ⑥神経難病(筋萎縮性側索硬化症など)⑦神経感染症(髄膜炎、脳炎など)があります。

今回は認知症についてお話をいたします。厚生労働省の資料によると令和2年時点では軽度も含めると全国に約600万人の患者がおり65歳以上の認知症罹患率(軽度も含めて)は約10%程度と推計されています。認知症と言えば、まずアルツハイマー型認知症を思い浮かべる方が多いでしょう。認知症をきたす疾患には他にもレビー小体型認知症、脳血管性認知症、前頭葉側頭葉型認知症、正常圧水頭症などがあります。また脳神経疾患以外でも甲状腺機能低下症や肝性脳症、うつ病などでも認知症状を呈することがあります。この3つの疾患は原疾患を治療することにより改善することがあるため「治る認知症」とも言われています。これら認知症をきたす疾患で最も多いのが、やはりアルツハイマー型認知症で認知症の約半分を占めます。次に多いのがレビー小体型認知症で約2割、脳血管性認知症で約1割です。もっとも多いアルツハイマー型認知症は脳内にアミロイドβ蛋白やタウ蛋白という異常蛋白質が脳に蓄積することによって起こります。これらの異常蛋白質の蓄積は一般的に加齢とともに増加していきます。

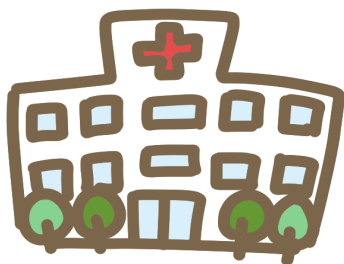
アルツハイマー型認知症とレビー小体型認知症には治療薬があり現在4種類の内服があります。しかし残念ながらいずれの薬も完治することはなく症状の進行をある程度遅らすことしかできません。最近開発された早期認知症治療薬として注射薬があり、これまでの内服よりも効果が高いと言われています。米国ではFDA(アメリカ食品医薬品局)が本年1月に承認しました。日本でも近いうちに承認されることが望めます。

では、どのようにしたら認知症発症を予防できるでしょうか?いくつか挙げてみたいと思います。①高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病のしっかりとした治療 ②適度な運動(決して無理はしないでください) ③バランスの良い食事(緑黄色野菜や青魚など) ④禁煙や節酒に努める ⑤物事を十分に考える(読書や脳トレなど) ⑥前向きに考える(くよくよしない)などです。いずれの方法も継続することが大切です。

今後ますます平均寿命は延びていきます。認知症にならないためにも、今から実践していきましょう。

最後に皆様のさらなるご健康とご幸運を祈念いたします。

2017年から当院での小児リハビリテーションが開始されました。開設当初は小児リハビリに携わったことのあるスタッフはほとんどおらず、外部への研修や見学を通して小児チームで切磋琢磨しながら、よりよいリハビリテーションを提供できるよう奮闘しています。



さて、子どもに限らず、人間には多かれ少なかれ、得意なことで不得意なことがあります。物事を覚えるのが苦手な人、繰り返し単調な仕事を繰り返すことが苦手な人など、これらは一般的に「個性」と言われるものです。発達障害はその延長上にあるものと考えられるでしょう。

発達障害は大きく、「自閉スペクトラム症」「注意欠如・多動性障害」「学習障害」の三つに分かれます。当院を受診されるお子様やご家族には、それぞれの困り感や生きづらさがあり悩んでいます。そこで我々は公認心理師による聞き取りや検査、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による検査や訓練を未就学児・就学児に提供しています。

○理学療法士・・・

転びやすい、姿勢が崩れやすい、ジャンプが苦手など、運動が苦手なお子様に対し、運動分析や機能評価、保護者からの問診を行い、苦手な部分や未発達な部分に対し、要所ごとに発達を促すような遊びやリハビリ・アドバイスをを行います。

また、主治医からの指示のもと、義肢装具士とインソール（靴の中敷）の検討・作成、靴の調整を行っています。



○作業療法士・・・

お子様たちの筋力や種々の感覚に対する反応、身体全体を使ったダイナミックな運動、手先を使った細かな運動の状態、眼球運動面、言葉の理解など確認し、お子様たちがよりよく発達していくために適切な情報を自発的に取り入れ、経験し、成功体験を積むことのできる遊びや作業活動などの課題を個々に向けて提供しています。



○言語聴覚士・・・

発音がはっきりしない、べつの音になる、ことばの遅れ、ことばでのやりとりが難しい、ことばが詰まる・同じ音を繰り返す（吃音）、読み書きが苦手なお子様に対し、発達と言語学習に関する細かい評価を行い、言語やお口、読み書きの発達を促します。

近年、発達障害への関心が深まり、生きづらさを抱えた子どもたちにとっては、良くも悪くも環境や周囲は変化しています。「発達障害」から二次障害へとつながる子どもたちも少なくありません。そこで、我々ができることは的確に評価を行い、その子の得意・不得意を明らかにすることや、家庭や学校等でどのような困り感があるのかを聴取し、その子にとって生きやすいアドバイスをしていくこと・リハビリを通して苦手なところも得意なところへとスキルアップしていくことだと考えています。子どもたちの発達段階に合わせ、ご家族の方と目標を共有しながらご家庭でのお子様との関わり方の提案を行ってまいります。

悩み事を一人で抱えるのではなく、周囲や地域を巻き込んで、気軽に相談しやすい場所でありたいと思っていますので、ぜひご相談ください。

当院では地域医療連携センターが相談窓口となっており、入院中の患者様やそのご家族の方々が安心して生活を送れるよう、日々対応させていただいております。患者様やご家族等からのご相談に幅広く対応できるよう、地域医療連携センターには専任の看護師・医療ソーシャルワーカーが在籍しておりますので、生活の中で感じられた様々な心配ごとや不安なこと等については、お気軽にご相談ください。要望や苦情等についても関係者と協議の上、対応させていただきます。なお、相談の上で知り得た秘密・情報につきましては厳守いたします。



●主な相談内容といたしましては…

《経済的なこと》

- ・医療費や生活費のことが心配
 - ・手続きの方法や書類の書き方がわからない
- ⇒医療保険制度・高額療養費・更生医療・特定疾患医療・障害年金・重心医療・減額認定・生活保護など

《障害者福祉のこと》

- ・障害者福祉制度について知りたい
- ⇒身体障害者手帳の交付・補装具の申請
福祉施設、各種サービス利用など

《介護保険のこと》

- ・介護保険制度について知りたい
- ⇒介護保険のしくみ・要介護認定申請
介護保険サービスなど



《退院後のこと》

- 家庭での生活が不安
- 介護施設を申し込みたい
- 在宅生活の準備がしたい

⇒住宅改修・在宅サービスの利用・施設の紹介・福祉用具の利用など



上記以外の相談にも対応させていただきます。

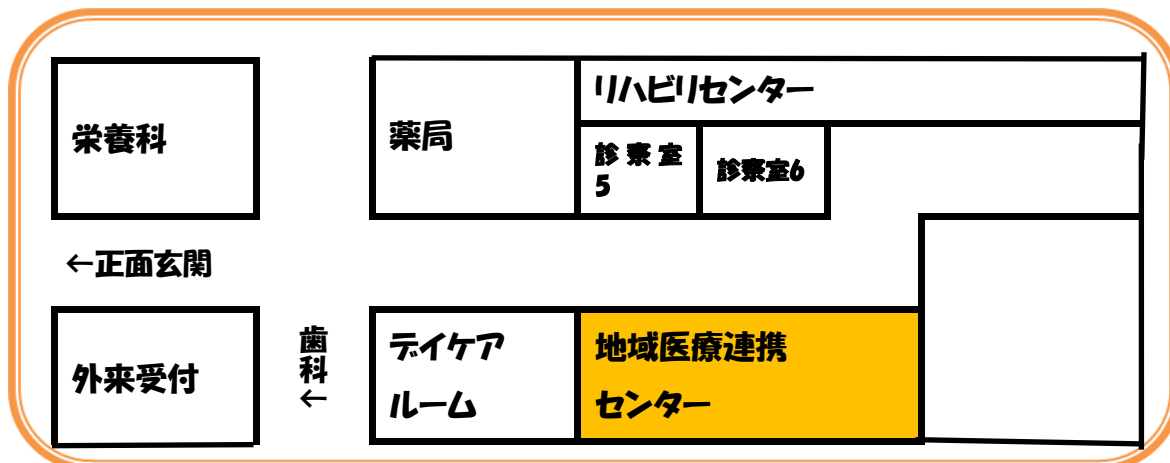
お気軽にご利用ください。



地域医療連携センターは

- ◆月曜日～土曜日 午前8：30～午後5：30（※祝日、年末年始を除く）
- ◆地域医療連携センターにおいてにできない場合は、お部屋にもお伺いいたします。
- ◆お電話でのご相談でもお受けしています。

☆地域医療連携センターは1階のリハビリセンター前にあります。



●口腔ケアとは、歯磨きによる口腔内の清潔保持だけではなく、咀嚼や嚥下など口腔機能の向上を図るトレーニングを含めたケアをいいます。

麻痺や認知症によって、自身で口腔ケアができない高齢者の方には、必ず口腔ケアを実施しましょう。

上記の方以外にも、高齢になると口腔ケアが必要になる人が多いです。例えば、よくむせる方や口臭が気になる方は要注意です。また、義歯をなかなか外さない方も注意が必要になります。口腔の健康状態は、さまざまな病気と関係があると言われており、近年では特に重要視されています。

自身でおこなう毎日のケア（セルフケア）が基本ですが、歯科医や歯科衛生士など専門家による指導（プロフェッショナルケア）とあわせておこなうことが重要です。



【口腔ケアの効果】

- 口臭予防
- 口周りの動きが良くなる
- 唾液の分泌を促進
- 認知症予防

●会話時の口臭に悩みを抱える方は少なくありません。口腔ケアによる口臭改善は、会話時のストレス軽減に繋がります。また、咀嚼による刺激は認知症の予防に繋がると言われており、口腔ケアで咀嚼機能を向上させることは脳を活性化させる観点からも重要です。唾液の分泌促進にはさまざまな利点があり、口腔内の粘膜保護や清潔保持のほか、発がん予防の効果が報告されています。

●高齢者の口腔ケアでは何をすれば良いのか、どのようなことに気をつければ良いか分からない方も多いのではないのでしょうか？口腔ケアの目的や注意点をしっかりと把握した上でおこなうと良いでしょう。

●気になることがありましたら、なんでも歯科医師、歯科衛生士に相談してみてください。



●心電図検査とは？

心臓は筋肉でできた臓器で、筋肉が伸び縮みすることで、全身に血液をめぐらせています。心臓の筋肉が伸び縮みする現象は、筋肉内にかすかな電気が流れる事で起こります。この心臓の電氣的な活動をみるのが心電図検査です。

●心電図検査はどうやって行いますか？

心電図検査は、両手両足で4つ、そして胸に6つの電極をつけ、心臓から発生するかすかな電気を取り出だして、記録する検査です。記録は基本3分程度で終了します。食事制限もありません。検査中に痛みを伴うことはありませんし、電極や装置から電気が身体に流れ込むことは絶対にないようになっていますので、安心して検査を受けて下さい。

●心電図検査で何がわかりますか？

心電図検査では、心臓が規則正しく脈を打っているかどうか分かります。心臓のリズムが乱れる「不整脈」と呼ばれる病気の発見にはとても役立つ検査です。また、胸が痛くなる「心筋梗塞」や「狭心症発作」のときには、心臓内の電氣的活動にも異常が生じますので心電図が診断に役立ちます。

気になる症状がある場合は、かかりつけ医師に相談してみてください。

外来診療のお知らせ

☆令和5年5月より糖尿病内科をはじめました。

糖尿病内科 担当医：井上 明菜 水曜日（午前・午後）
金曜日（午前・午後）

☆令和5年6月より漢方外来、禁煙外来をはじめました。

漢方外来 担当医：宗岡 雅子 月曜日（午後）、木曜日（午前）
禁煙外来 担当医：宗岡 雅子 月曜日（午後）、木曜日（午前）

《 お気軽にご相談下さい。 》

トライアスリート 佐藤錬のエッセイVol.2

人と人との繋がりの大切さ

エッセイ第2回目である今回は、世界各国で転戦している私が遠征を通して感じたことを書かせていただきたいと思います。トライアスロン競技は、各レースの獲得ポイントにより年間のランキングを向上&維持していくため毎シーズン世界各国のレースに出場し続ける必要があります。

2023年は気付けばもう半年が経ちましたが、ここまで6カ国で7戦、今後は9カ国で12戦を予定しており、乗り継ぎでの滞在などを含めると20カ国ほどになる予定です。そんな世界各国を転戦している私ですが、当然様々な言語や料理、そして文化に触れ合う機会が多くあります。レースや合宿での遠征となるため観光の時間は全くありませんが、食事やホテルなど現地の方々と会話を重ねるとある一つの大切なことに気づかされます。



それは「人と人との繋がりの大切さ」です。

ただのコミュニケーションツールとして言葉が存在しているわけではなく、言葉を通して人の優しさや温かさに触れ、いろいろな文化が交錯した先に「繋がり」が生まれているのだと海外では常と感じます。

私は英語が堪能ではなく、時には相手も英語ではなく母国語しか喋ることができない人ともジェスチャーや表情を駆使してコミュニケーションを図る場合もあります。ですが海外の人達は日本人と比べて喜怒哀楽を豊かに表現してくれる印象があり、異国の人は私に対して笑顔をやさしく明るく接してもらえると人の温かさがとてもよく伝わってきます。

コロナ禍で人と人との繋がりが物理的にも制限されたにも関わらず、人の温かさに触れ1人で競技をしているわけではないんだと改めて気付かされ、そして多くの方々の支えがあってレースのスタートラインに立てているのだと感じます。

医療法人の所属選手として感染に人一倍気をつける日々ではありますが、以前より「繋がり」を強く感じられるようになった今ではこのような経験をするたびに、より日本からのご声援を身に染みて感じる事ができ、感謝の気持ちを持って海外での遠征を過ごしています。

このエッセイを読んでいただいた方には、ぜひ人と人との繋がりの大切さを改めて感じていただくキッカケとなれば幸いです。



○個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1.個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

2.個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3.個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。

4.個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

5.教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

6.診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

7.問い合わせ窓口

個人情報に関する問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください。

個人情報保護相談窓口：地域医療連携センター

○診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供及びカルテ開示についてお申し出があった際は速やかに対応させていただくシステムになっておりますが、必要な条件書類等がございます。担当の窓口にて対応させていただきますので、ご遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

○セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得して頂き、患者さまが主体的に治療を受けて頂く為に、第三者である他医療機関の医師の診療をうけることについてはそれに応じさせていただいております。同じく他医療機関を受診されている患者さま・ご家族についても対応させて頂いております。詳しくは地域医療連携センターまでお尋ね下さい。

○患者さんの権利

すべての人は、人格を尊重され健康に生きる権利を有しています。患者さんが、最善の医療を受ける事は人として基本的権利です。

【平等で良質な医療を受ける権利】

患者さんは、皆さんが平等で良質な医療を受ける権利が有ります。

【選択の自由の権利】

患者さんは、担当医師および医療機関を選択、セカンドオピニオンを求める権利があります。

【知る権利】

患者さんは、自らの病状について納得するまで十分に説明を受ける権利があります。

【自己決定権】

患者さんは、医療を自分で選択する、同意して受ける、あるいは拒否する権利があります。

【個人情報の保護】

患者さんは、全ての個人情報、プライバシーが守られる権利があります。

○患者さんの責務

【情報の提供】 自分の健康に関して、できるだけ正確に提供して下さい。

【規則の順守】 当院の規則を守り、迷惑行為は慎んでください。

【支払いの義務】 診療費は、速やかに支払ってください。

氷山の一角（意見箱より）

（患者様・ご家族様からのご意見・ご要望に関する回答）

●当院には小児リハの患者様が多く通院されてます。子供はもともと長時間座って待つことが難しいと思います。本やおもちゃを置くことができないのであれば、モニターにアニメーション等を流すことはできないでしょうか。

▶大変申し訳ございませんでした。待合室に絵本を準備いたします。ご利用ください。この絵本については、定期的に入れ替えも検討しています。今後とも、お気付きの点等ございましたらお気軽にスタッフまでお声掛けください。貴重なご意見ありがとうございました。

※本掲載分の個人名・団体名につきましては個人情報保護法に基づき、本人またはご家族の同意を得て掲載されております。



医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

〒899-5241

始良市加治木町木田4714

TEL 0995-62-0001（代）

FAX 0995-62-3778

URL <https://www.kjko-hp.com>

診療科目

- 内科 ●腎臓内科(人工透析) ●リハビリテーション科
- 整形外科 ●脳神経内科 ●脳神経外科 ●消化器内科
- 消化器外科 ●外科 ●肝臓内科 ●循環器内科
- 糖尿病内科 ●泌尿器科 ●耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 皮膚科 ●心療内科 ●歯科

